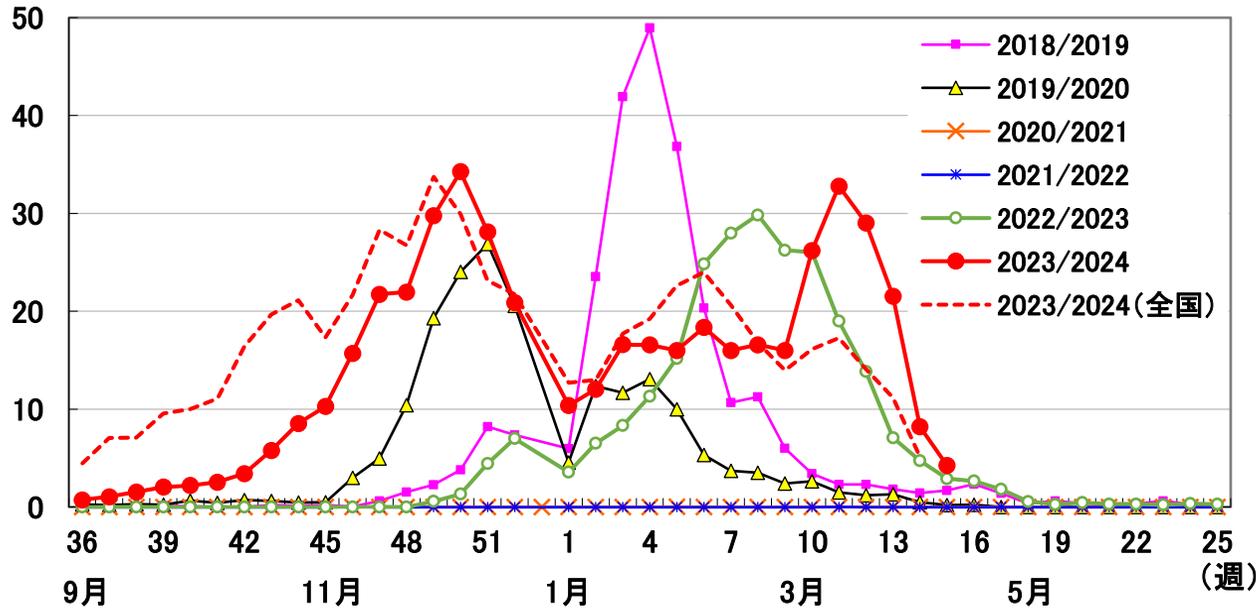


インフルエンザの発生状況(富山県)

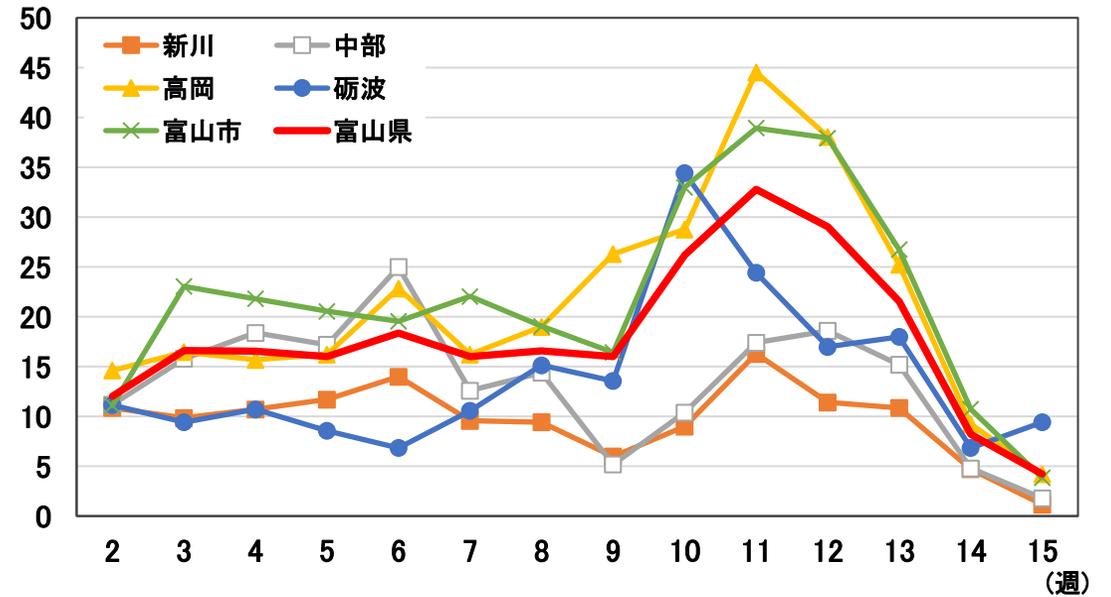
【第15週(2024/4/8~4/14) 感染症発生動向調査速報値 (2024/4/17時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第15週) **4.24**人/定点となり、先週(8.21人/定点)から減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、砺波管内を除くすべての管内で先週から減少した。

図3. 年代別割合(富山県、第15週)

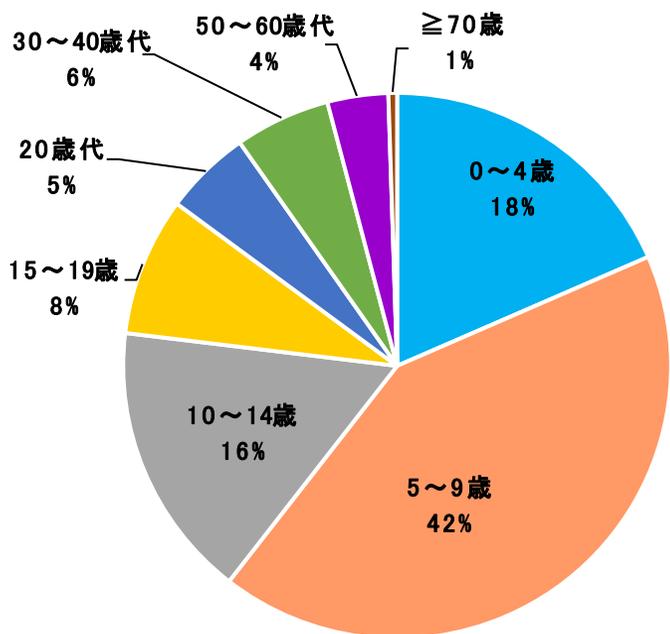
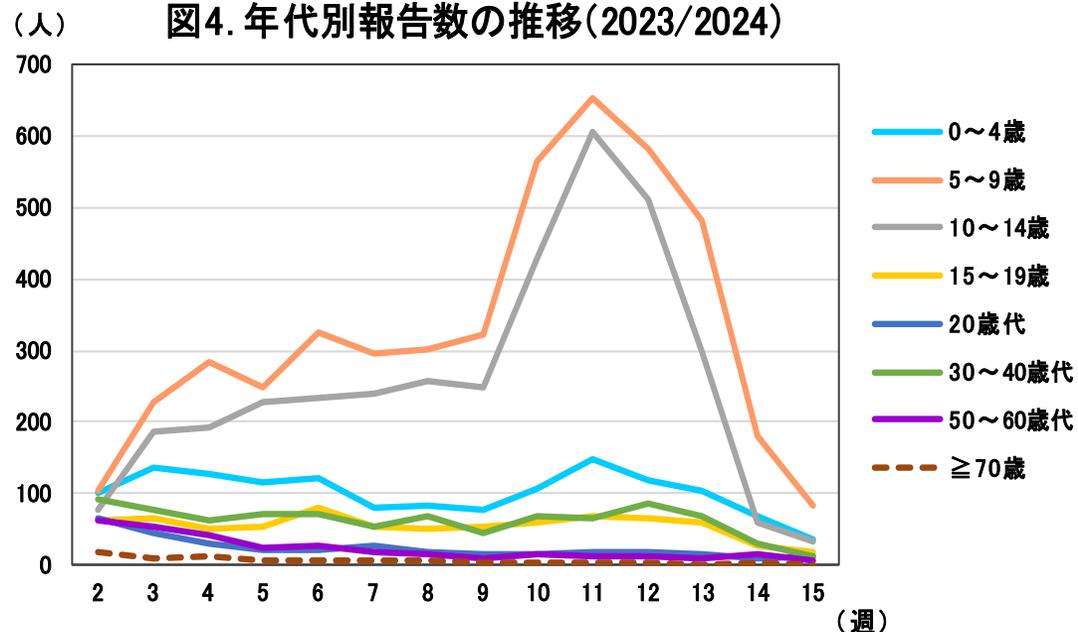


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第15週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が76%を占め、先週（79%）からやや減少した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代において先週と比較して減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告はなかった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第14週)

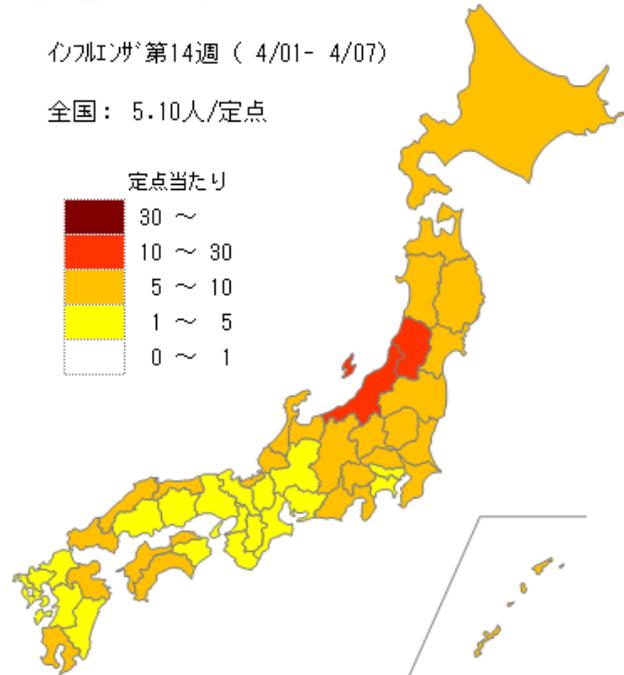
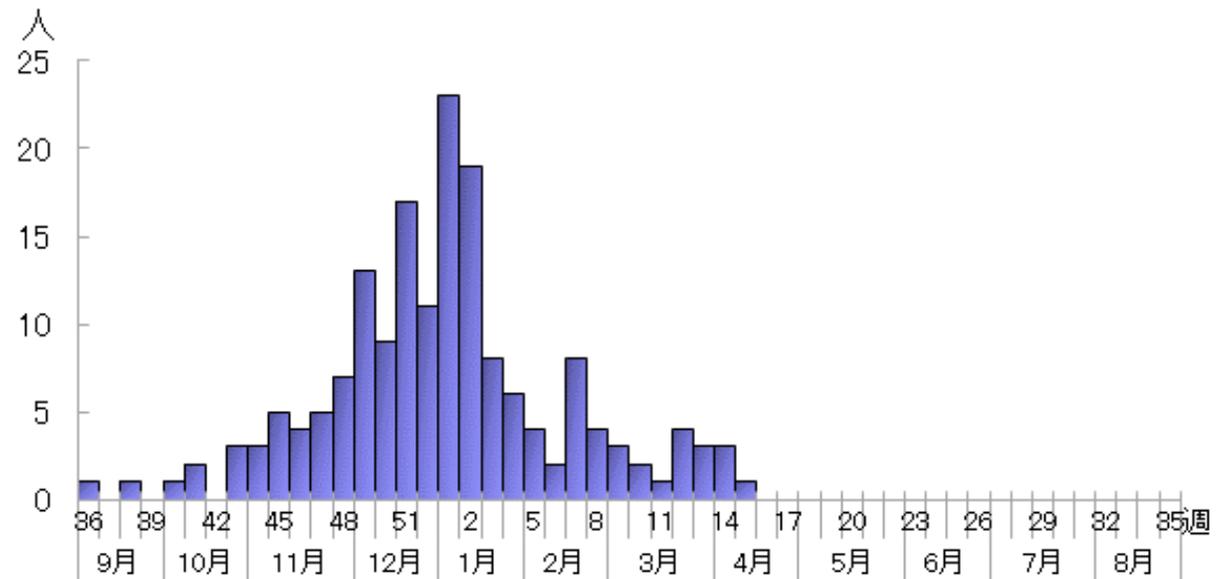


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第15週)



- 全国では第14週に5.10人/定点となり、第13週（11.18）から減少した。都道府県別（図5）では、2県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第15週に1例（10歳未満）の報告があった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は第11週をピークに減少が継続している。また、B型の検出割合は今週86.2%と、先週（90.2%）と同程度であった（[富山県感染症発生動向速報2024年第15週](#)）。引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。